

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	国際教育交流事業の振興		事業開始年度	平成19年度	作成責任者	
担当部局庁	大臣官房国際課		担当課室	国際課企画調整室	企画調整室長 阿蘇 隆之	
会計区分	一般会計		上位政策	国際交流の推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計 画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	国際化の進展に伴い、複雑化する国際教育交流関係業務を迅速かつ適切に処理するため、外国語及び日本語に関して相当高度な能力を有し、かつ国際教育交流に関する知識・経験を有する人材を「国際教育交流アソシエイト」として翻訳業務等に従事させ、国際教育交流業務の高度化・充実に資する。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	高度な外国語及び日本語能力を有し、かつ文部科学行政及び国際教育交流に関する知識・関心を有する人材を「国際教育交流アソシエイト」として、国際会議関係資料や文部科学省を訪問する外国要人等に対する説明資料等を翻訳させ、我が国の教育・文化・スポーツ・科学技術・学術分野における取り組みを世界に向けて情報発信する。					
実施状況	平成21年度は、高度な外国語及び日本語能力を有する者2名に、国際教育交流アソシエイトとして、国際教育交流に関する文書等の翻訳、外国語による資料作成、通訳等の業務を依頼した。また、東南アジア文部大臣機構(SEAMEO)熱帯医学地域センター(マニラ)ほか国際機関に研究者を派遣し、教育に関する意見交換等を実施した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	19	19	19	18	16
	執行額	13	16	15		
	執行率	68.4%	84.2%	78.9%		
	総事業費(執行ベース)	13	16	15		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	国際交流アソシエイトの採用にあたっては、公募の上、書面及び実技・面接試験を実施し、高度な能力を有する者を選考している。採用後は、日常の業務管理及び成果物の内容確認を実施している。				
	見直しの 余地	<input type="checkbox"/> 各国際交流アソシエイトの勤務時間について、業務量や業務分担に留意しながら、適正に管理している。 <input type="checkbox"/> 各種翻訳依頼文書の重要度、緊急度、優先度をアソシエイトに十分説明し、認識させた上で、業務に従事させる。また、省内の依頼者(担当局課)のニーズを十分に理解し、質の高い翻訳等を行うため、アソシエイトと担当局課とのコミュニケーションの円滑化を図る。				
予算 チームの 監視の 効率化 の所見	1. 事業評価の観点：この事業は、平成21年度の実績として、高度な外国語及び日本語能力を有する者2名を採用し、国際教育交流に関する文書等の翻訳、外国語による資料作成、通訳等の業務を行っている事業である。今回予算執行(不用)の観点から検証を行った。 2. 所見：毎年度恒常的に不用が生じており、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算を縮減すべきである。					
補記						

国際教育交流事業の振興

A.文部科学省  
15百万円

諸謝金 7百万円  
庁費 5百万円  
文化人等派遣外国旅費 3百万円 } を含む

高度な外国語・日本語能力等を有する「国際教育交流アソシエイト」に、国際会議関係資料の翻訳等作業を依頼する。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

A.文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	国際交流アソシエイトの翻訳等業務に係る謝金	7			
庁費	日々雇用職員に対する賃金	5			
文化人等派遣外国旅費	SEAMEOなど国際機関への研究者の派遣	3			
計		15	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。  
 使途と費目の  
 双方で実情が  
 分かるように記  
 載)